

九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

九大の先生の研究を動画で紹介！ 先生の森「森の映画館」がオープンしました



九州大学を代表する先生を動画で紹介するウェブサイト「先生の森 森の映画館」をご存知でしょうか？このサイトは、九州大学で行われている各分野の最先端の研究を動画のかたちで紹介することで、本学の魅力をより広く皆様に知っていただくためのものです。教材開発センターでは、昨年度より、このサイトで公開する、先生の紹介動画の制作を行ってきました。現在、高等研究院の國武豊喜先生をはじめとする6人の先生の動画を視聴することができます。



動画の中の映像の多くは、伊都図書館3階にある教材開発センターのスタジオで撮影したものです。スタジオでは、映像収録に適した環境が整備されているため、より高品質な映像を収録できます。また、背景の合成ができるので、臨場感

を保った映像を制作できます。さらに、プロンプターという装置を使うことで、準備いただいた原稿を読みながらもカメラ目線を保った映像ができるため、先生方のご負担も軽減できています。

先生の研究内容やその成果をわかりやすく知っていただき、先生の素顔や研究室の雰囲気も伝えられるよう、映像制作には工夫を凝らしています。今年度中に、約30名の先生方の動画を公開することを目標に、今後も1~2ヶ月に1度、3本程度の動画が追加される予定ですので、どうぞご期待ください。



先生の森「森の映画館」ウェブサイト

【谷澤 亜里 助教】

▶ <http://rpv.icer.kyushu-u.ac.jp/>

著作権Q&Aハンドブック第3版 日本語・英語版 を公開しました

著作権Q&Aハンドブック「大学教育における他人の著作物を含む電子・オンライン教材の作成と利用に関するQ&A」の第3版とその英語版を作成し公開しました。学生のPC必携化に伴い、電子教材を利用した学習や教育が多く行われるようになりました。しかし一方で、作成した教材に他人の著作物を含む場合には、著作権侵害とならないように注意が必要です。そこで、電子教材を作成する際の「疑問」にお答えする目的で、このQ&Aハンドブックを作成しました。第3版は、第2版の内容を精査し、また、大学のグローバル化に伴い、外国人研究者や教員にも理解していただけるように、英語版を作成しました。教材作成の際にぜひ活用ください。



日本語

ENGLISH

▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/copyright_info

【河野 由起子 (テクニカルスタッフ)】

Apple Developer Enterprise Programをご存知ですか？

これは、iPad や iPhone などの Apple のモバイル端末用アプリ (iOS App) を開発し組織内で利用可能とするプログラムです。九州大学では、教材開発センターが中心となり本プログラムに参加しています。専用の開発ツールである Xcode を利用して iOS App の開発が可能ですが、実行検証は一般にシミュレーター上でのみ可能です。実機での検証のためには、実機に開発した iOS App をインストール可能とする権限が必要になります。また、開発した iOS App を学内の多数の利用者に利用してもらうためには、配布の権限も必要になります。Apple Developer Enterprise Program は、これらを可能にするものです。教材開発や研究開発の目的で iOS App の開発と学内での配布を希望される場合には、本センターにお尋ねください。



詳細は以下のページをご覧ください。

▶ <https://developer.apple.com/programs/enterprise/jp/>

【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】

2D/3D 教材開発システムの紹介 ～ vol.4～

3D プリンター



これは、3次元CGソフトウェアで作成した形状データや実物体から3Dスキャナで取得した形状データなどからその形状と同じ実モデルをABS樹脂などの材料で作成する装置です。考古学で発掘された貴重な有形資料のレプリカ作成や、都市工学で建物や橋梁の図面からサンプルモデルを作成するなどの活用が考えられます。297×210×200mm³の大きさまでのモデル作成が可能です。また、半透明の樹脂の場合、内部の構造を見ることができるモデルの作成も可能です。講義中に学生に閲覧させる目的でのモデル作成に限らず研究目的での利用も歓迎いたしますので、是非ご活用ください。



【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】

VR/ARの電子教材を開発してみませんか？

昨年話題になったゲーム機 PlayStation VRをご存知ですか？ディスプレイメガネの付いたヘルメットのようなものを頭に被ることで、あたかも実世界に居るかのような非常に高い没入感や臨場感を得ながらゲームを楽しむことができます。このような感覚や技術のことを仮想現実 (Virtual Reality: VR) と言います。また、人が知覚する現実環境を拡張する技術のことを拡張現実 (Augmented Reality: AR) と言います。スマートフォン・カメラの実写映像に付加価値情報を重畳表示することもARで、昨年話題になったポケモンGOもARアプリの一つです。これらのVR/ARを使った電子教材は、学習者に興味を持たせ、高い学習効果が期待できます。教材開発センターでは、このような電子教材の開発も強力にご支援いたします。



【岡田 義広 教授(教材開発センター長)】

～教材開発支援機材システムの貸し出しについて～

お問い合わせ、お申込みフォームはこちらから

▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

- ① デジタル顕微鏡 ② 光学式モーションキャプチャー装置 ③ 3Dスキャナー
④ 3Dプリンター ⑤ ハイスピードカメラ ⑥ 視線追尾装置 ⑦ 講義収録配信システム

電子教材著作権講習会 ～ 部局・部門FDとしてご依頼ください ～



部局・部門から「電子教材著作権講習会」のご依頼いただけましたら、日程と会場を調整させていただきます。講師は、大学学習資源コンソーシアム(CLR: Consortium for Learning Resources) で委員を務める教材開発センター長の岡田義広教授です。ぜひお問い合わせください。

FD講習会依頼フォームや講習会資料はこちら ▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/copyright_info

【河野 由起子(テクニカルスタッフ)】